

多摩市・川崎市・稲城市民のみなさん

私たち、そして未来ある子供たちの生命が危ない！！

ご存知でしたか？多摩市はエコプラザ多摩(同市諏訪六丁目)に廃プラスチック圧縮処理施設の建設を計画し、すでに市議会において可決、来年4月稼働を目指し3月末着工に踏み切ろうとしています。

多摩市は有害な化学物質がでないよう安全対策は施す予定としていますが、果たしてそうでしょうか？着工間際の今でさえ何の明確な根拠も、化学的なデータも知らされていないのです。

エコプラザ多摩は尾根幹線道路沿いに位置し半径およそ二キロ内には多摩・川崎・稲城の保育園や幼稚園、学校、給食センター、公園、駅、病院、スーパーなど我々の生活に欠かせない施設が無数にあります。

このような地域にあの「杉並病」*の原因施設と同じような廃プラスチック圧縮処理施設を建設することに大きな危機感を抱かずにはられません。

* 杉並病とは？

杉並病は化学物質過敏症のひとつです。プラスチックなどの不燃ごみ圧縮施設、杉並ごみ中継所(杉並区井草)でプラスチックごみの容量を減らす押し込み作業の工程でプラスチックどうしが擦れ合う事により毒性化学物質が放出され住民や動物に集団発生しました。

被害の範囲は半径6キロ超といわれました。症状は下痢、湿疹、疲れやすさ、のどがはれあがる、呼吸困難、目のかすみ、視力低下、体中に水泡ができる、ペットの体毛が抜け落ちて死に至るなどが報告されました。プラスチックごみの処理過程で発生する新しい公害として議論を呼んでいます。のちに科学者グループの調査により「杉並病の原因物質はトルエンジイソシアネートや有機シアンなどのプラスチック起源のシアン系化合物」**だと判明しました。

**ダイオキシン・環境ホルモン国民会議ニュースレター 16(2002.3)川名英之

：：：：：：：ある市の廃プラスチック圧縮処理場に視察に行った方た

ちの話：：：：：：

五円玉大のじんましんが体中にでき四日間おらなかつた。

連れて行った五歳の子供が体中に赤いじんましんができ

た

現在多摩市が計画している廃プラスチック圧縮処理施設周辺が杉並の二の舞になる可能性がないとは言い切れません。市は安全であると主張するでしょうが、きちんとしたデータや学術的な根拠を伴った説明を果たす責任があります。

私たちの問題です

廃プラスチック処理問題はもはや多摩市・川崎市・稲城市住民全体の問題です。私たちは毎日多くのプラスチックごみを出しています。しかし多摩市が周辺住民に相談もせず一方的にその処理方法を決め私たちの健康を犠牲にすることは、納得できるものではありません。私たち自身の問題としてもっと行政、市民が協力し考える事が先決ではないでしょうか

まず知ることです

そうです！私たち周辺住民には多摩市の廃プラスチック圧縮処理施設について「知る権利」があります。

多摩市による説明会が予定されています。是非出席しましょう！

説明会

2月24日(土)15時～
エコプラザ多摩多目的ホール

2月25日(日) 1)10時～ 2)15時～
黒川公会堂(汁守神社内)

我々の生活を守れるのは

他の誰でもない我々自身なのです

はるひ野町内会エコプラザ対策部会

お問い合わせ先

eメール: ecopla@jcom.home.ne.jp

ホームページ: http://wiki.livedoor.jp/ecopla_taisaku/